



2018

女子審判

トレーニングセンター

--- 活動報告 ---

開催日

2018 年 10 月 20 日 (土)

9 : 20-16 : 30

会 場

神戸レディースフットボールセンター

[神戸市東灘区向洋町中 7 丁目 1-1]

参加者

受講者 : 15 名

日本協会派遣講師 : 西岡昌弘 氏

1 級インストラクター

県審判委員会 : 女子部長・部員

: 指導者部員

: 強化部員 他

2012年から始まった「兵庫県女子審判トレセン」。

今年で7回目の開催となりました。

天候にも恵まれ、県下女子審判員が神戸 LFC に集結し、講義・トレーニング・ゲーム（レフェリング）に取り組みました。

以下、その取り組み内容について、報告いたします。

2018年度 女子都道府県 審判トレセン【兵庫県】

10月12日 3版		DIR	西岡氏(JFA)	兵庫担当	的崎(JFA)	日程	2018年10月20日(土)9時20分～16時30分
会場		神戸レディースフットボールセンター					
環境		フィールド(人工芝)・会議室(20名収容)・					
試合		【ブラクティカル デモンストレータ & 練習試合】 科学技術高校サッカー部					
日程の概要						集合時間	8時50分
時間	2018/10/20(土)					解散時間	16時30分
		講習テーマ				備考	
		Let's play soccer!				■会場	
9	8:50～	スタッフ集合				神戸レディースフットボールセンター	
		スタッフ打ち合わせ				http://www.kobe-spokyo.jp/klfc/access.html	
	9:20～	受付				司会・進行:夏莉	
	9:30～	開会挨拶				挨拶:兵庫県サッカー協会 審判委員会 山本副委員長(委員長代理)	
	9:35～	自己紹介				担当:的崎 全参加者より30秒スピーチ。	
10	9:45～	レクチャー(1)と(2)				講師: 八巻ins 講師: 西岡DIR	
11	11:20～	審判員によるプレゼンテーション「女子1級になって」				担当:中本	
	11:50～	プレゼンテーションテーマについて評価・質疑応答				進行評価担当:西岡氏	
12	12:00～	昼食休憩 (審判員は試合準備)(インストラクターは午前中の反省会)				科技高校 集合 12:30	
13	13:00～	ブラクティカル①(初級14編)「キックス&フックアップ」(実質20分) ブラクティカル②(活動中編)「GKのバントキックからの蹴り合い」 (実質20分)①、②は同時進行				ブラクティカル① 担当:岸田・梶原・谷添、 ブラクティカル② 担当:深井・夏莉・中本	
	13:50～	試合準備					
14	14:00～	トレーニングマッチ 30分×2 科技高(紅) VS 科技高(白) ① R,A1,A2,4th ② R,A1,A2,4th				①担当インストラクター: ②担当インストラクター: 試合が終わり次第各チームで反省会	
15	15:20～	休憩(更衣、insはレフェリー分析準備)					
	15:30～	レフェリング分析 ①主審:、副審、4th: ②主審:、副審、4th: (総括:西岡DIR)					
16	16:15～	まとめ				講師: 西岡DIR	
	(16:30)	開会挨拶・連絡事項・解散				担当:的崎R	
17		片付け・撤収(16:30～)					

2018

女子審判

トレーニングセンター

開催日

2018年10月20日(日)

9:20-16:30

会場

神戸レディースフットボールセンター

神戸市東灘区向洋町中7丁目1-1

スケジュール

左表参照

2018

女子審判

トレーニングセンター

自己紹介

<30 秒スピーチ>

- ・ はっきり喋る
- ・ みんなに伝える
- ・ 毅然とした態度で
- ・ 時間の管理

これらも審判員として
必要な要素

2018

女子審判

トレーニングセンター

プレゼンテーション

日本協会
1級インストラクター
西岡 昌弘 氏

「資質向上プレゼン」から研修項目毎への指導・助言、総括講評など、非常に貴重なお話を聞くことができました。

2018

女子審判

トレーニングセンター

プレゼンテーション

中本氏から「女子 1 級昇級」に至るまでの経緯や昇級後の心境と行動・活動についてプレゼンテーションがありました。

自身が経験・体験したことを伝え、今後羽ばたく受講生たちへ力強いメッセージになったと思います。

今後、審判員として、あるべき姿とやるべき事について再認識できた内容でした。

2018

女子審判

トレーニングセンター

P T

初級トライ編：

「ホイッスル＆フラッグアップ」

真っ直ぐ伸びた腕と旗は、主審・競技者・観戦者への
視認度・信頼度・納得度を与える。

プラクティカルトレーニング
(略：P T)

試合の一部を切り取り、
その場면을再現・繰り返すことで判定
精度を上げる練習法。

今回は「笛とフラッグアップ」
「GK パントキックからの競り合い」
をテーマに実践。

反復練習を重ねる内に
改めて姿勢や身体の向き・ポジショニ
ング、そしてすべき事柄が徐々に理解
でき、判定精度が上がりました。

中級以上編：GK パントキックからの競り合い

端末機器(ipad)を駆使して、競り合い時の競技者の位置取り、ボールへの優先権、
接触部位、ボールに触れたか否か等を撮影し、個別に指導を行なった。

2018

女子審判

トレーニングセンター

実試合

科学技術高等学校サッカー部の皆様のご協力の元、紅白戦を実施していただき、実際のレフェリングに臨む。

講義やPTで培ったスキルを発揮する場面。

実践が最大の教育の場だ



2018

女子審判

トレーニングセンター

分 析

ビデオで試合を撮影し、終了後研修会に戻り、映像を元に良かった点・課題点を抽出しました。

動き方・判定等、レフェリーチームだけではなく、参加者全員で考え、最終的に良い判定につながる方策とさらなる競技規則の理解を図りました。





<3級 育成審判員 笹部 優>

今回の研修会はいつもと違い、初めての方やママさんの方が多かったが、午前中の講義でコミュニケーションを図ることができた。中学生や高校の先生、ママさんリーグで活躍する方など世代が様々であったが、それぞれが色々な思いを持って参加していると感じた。

午後のプラクティカルでは、キーパーからのパントキックやゴールキックからの競り合いを見て判定するものであった。プラクティカルだからと自分で争点を決めて見がちになってしまったが、実際の試合を想定することと真横で見ることを指導して頂き、次の紅白戦に生かすことができた。紅白戦では、想定外のことが沢山起きて初めは戸惑いがあったが、途中からは冷静に判断できたと思う。ただ、一瞬迷いがあることはあったので、今回の講義にもあったようにしっかりと競技規則を把握し、自信を持って正確な判断を取ることが必要だと感じた。紅白戦後の反省会では、走り出しが遅いことと立ち位置や角度が良くないことを教えて頂いたので、気をつけていこうと思う。

参加者【感想】

<3級 育成ユース審判員 畑中 あずさ>

今回の女子トレセンでは、沢山のことを経験させていただきました。午前の講習では、上級審判員の方々の沢山の知識や経験を教えていただき、午後の試合では、主審をさせていただき、アクシデントが起きても自分自身を信じ、落ち着いて、審判していこうと思いました。ほかの方々の審判を見ても、勉強になることばかりで、シグナルの一つ一つから自分自身を見直していこうと思いました。今回の経験をこれからの審判に生かしていこうと思います。

<4級 育成審判員 三浦 薫>

先日は女子審判トレセンに参加させて頂きありがとうございました。八巻さんのオリエンテーションも西岡さんのお話も、改めて気づいたり気を引き締めるきっかけとなったように思います。また様々な級の審判員とも交流できて良い緊張感の中活動できとても楽しかったです。そして実際のゲームを通して普段は他の審判員とあまり一緒に活動が無いので客観的に見たり考えたり出来たことはとても良かったです。ゲームコントロールの難しさを改めて感じる事ができました。プレーヤーの気持ちや動きを知り、深めるために自分たちもプレーヤーとしてミニゲームなどをして面白そうだなと思いました。現在は活動できませんが、今回たくさん学ぶことができ、また活動できるようになる事が楽しみです。モチベーションを下げないようにまたこのような講習会などがあれば参加したいと思います。



<4級 審判員 芳賀 絵里奈>

主審が上手にできず、選手なら文句も言われるし、全然楽しくないという状況を少しでも改善しようと思って参加しました。知っている人がおらず最初は不安でしたが、皆さん気さくでとても楽しかったです。

午後からの実技も、今まで基本から教えてもらったことがなかったので、とてもためになりました。また参加したいです。ありがとうございました。

<無資格（コース）筒井 望月>

女子審判講習会に参加させて頂きました。

今回参加してみて副審ってこんなに楽しかったんだと思い始めました！

今、私は早く練習試合で副審をやりたいと思ってます！

今回は無資格で行きましたが機会があれば次は級を取って参加したいです！

本当に有り難うございました。楽しかったです！



<無資格 有井 聡美>

10/20の女子審判体験会に参加させて頂きました。

資格もなく、サッカー初心者の私が参加して、場違いではないかな・・・と思いつつ、

「審判に興味のある方」、を見て、参加しました。

小学生の子供たちがサッカーをしているのですが、チームのコーチ

不足もあり、審判の資格があれば、チームのお手伝いもできるかな・・・と考えたからです。

講習は有資格者向けではありましたが、分かりやすく、興味深く聞かせて頂きました。

インストラクタの先生方が、皆さん明るいんですね。気さくな感じが緊張をほぐして頂きました。

実技は私は旗の振り方、笛の吹き方すら知らなかったのが、緊張しましたが、見よう見まねでやらしてもらいました。どんな時に旗をあげるのか、どんな時がオフサイドなのか、が分からず終いだったので、聞いておけば・・・と思いました。

1級、2級の有資格者、又兵庫のサッカー界では名の知れた方々の中に混ざって頂き、貴重な体験がありました。今後4級から審判資格を取得できるよう、考えてみたいと思います。

本当にありがとうございました。

<特別参加 滋賀県3級審判員 安河内 亜美>

今回は兵庫県の女子審判トレセンに特別に参加させていただきありがとうございました。

滋賀県とは違う環境で、とても良い経験が出来ました。

2級昇級に向けていろいろ経験できるように頑張りたいと思います。

また機会があれば参加させてください。



今年度で第7回目を開催した兵庫県女子審判トレセンですが、毎年お天気にも恵まれ、たくさんの方のご協力の中、前向きな女子審判員の方々に参加していただき、今年も無事終了できたことを感謝しております。

今年は、3級～4級の女子審判員に加えこれから審判資格を取得しようとしている方を合わせて14名の参加、中学1年生の女の子から兵庫県のレディースリーグで活躍するベテランまでの幅広い年齢層で交流を深めました。また滋賀県から特別参加してくれた滋賀県初の2級を目指す高校生の女の子の強いレフェリングにも刺激を受け、県を超えた交流もできました。

今回は、妊娠中で活動はできていないですが、研修会など積極的に取り組む育成審判員の参加や出産のため休止中の2級審判員もお子さんを連れて来てくれたりと、これから女性のサッカー環境の中で考えていかなければならないサポートにも少し触れられた気がします。

午前中の講義では、第5条:主審、第6条:その他の審判員に触れ、審判員同士のコミュニケーションの大切さを参加者にも実際にやっていただきながら楽しく勉強したり、今年女子1級に昇級して活躍されている中本氏から「女子1級になって」について、お話いただきました。

午後からのプラクティカルトレーニングや実践練習では、神戸科技高校のサッカー部にご協力いただき、育成審判員はキーパーからのボールの競り合いの判定を、初心者の方には笛の吹き方やフラッグの振り方などから指導させていただきました。

そのあとの紅白戦での実践練習では、割当てられた主審・副審・第4審の4名のチームで、実際に男子高校生の試合に挑みました。科技高校も審判員たちの練習を考え、いろんな対応が必要なシチュエーションを作ってくださり、短い時間でしたがいろんな経験ができた実践になったと思います。

参加者の皆さんの一生懸命取り組む姿に私も刺激を受けることができました。

今回学んだことを持ち帰ってそれぞれ自身の活動に活かしていただければと思います。

また兵庫県は、女子の全国大会の開催、またなでしこリーグなど女子の夢舞台の試合がたくさんあります。兵庫県の女子審判員にはぜひ一人でも多くこのような大会で活躍してほしいと願っております。

女子部 部長 的崎 睦子（女子1級）

2018

女子審判

トレーニングセンター

総 括

講義→練習→試合
といった流れで、
今年も充実した研修
会を開催することが
できました。

神戸市立科学技術高等学校
サッカー部ならびに関係者の皆様
ご協力ありがとうございました。